

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医療倫理学

2 カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験：筆記試験（記述式）	90	a	a	a	b	c	a							
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）														
3 小テスト：筆記試験（記述式）														
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）														
5 口頭試験														
6 レポート														
7 成果発表														
8 質問紙法														
9 直接観察法（模型または実際の患者）														
10 OSCE														
11 監査（オーディット）														
12 ポートフォリオ														
13 自己評価														
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10									c	c			b
合計（100%）	100													a

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																															
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	1	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2	医療安全、感染症対策を実践できる。	2	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	2	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	3	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	4	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4	地域医療の実践に配慮できる。	4	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。

C	C	C	C	D	C	E	E	E	E	E	E	E	D	E	D	D	E	E	E	D	E	E	C	D	D	D	C	E	E	E	E	D	D	C	E	E	E	E	C
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

法学	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式） 20%
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 80%
	3	小テスト：筆記試験（記述式）
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）
	5	口頭試験
	6	レポート
	7	成果発表
	8	質問紙法
	9	直接観察法（模型または実際の患者）
	10	OSCE
	11	監査（オーディット）
	12	ポートフォリオ
	13	自己評価
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載
		合計（100%） 100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を説明できる。	問題を解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	がプライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
C	B	C	B	A	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	A	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科 目 名	単 位 数	学修成果と評価方法
-------------	-------------	-----------

哲学	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a: 主な対象項目/b: 副次的な対象項目/c: 対象に含めている項目)
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）
	3	小テスト：筆記試験（記述式）
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）
	5	口頭試験
	6	レポート
	7	成果発表
	8	質問紙法
	9	直接観察法（模型または実際の患者）
	10	OSCE
	11	監査（オーディット）
	12	ポートフォリオ
	13	自己評価
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載
		合計（100%）

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に活用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を説明できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	がライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
D	C	C	D	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	D	E	E	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E					

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

言語と人間

1

カリキュラム・マップ

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																											
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	1	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2	医療安全、感染症対策を実践できる。	2	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	2	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	3	臨床情報整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	4	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4	地域医療の実践に配慮できる。	4	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	5	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a: 主な対象項目/b: 副次的な対象項目/c: 対象に含めている項目)

評価形式	割合 (%)	I. プロフェッショナリズム	II. 医学知識	III. 医療の実践	IV. 問題対応能力	V. コミュニケーション	VI. 科学的探求	VII. 地域医療	VIII. 国際貢献
1 定期試験：筆記試験（記述式）									
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）									
3 小テスト：筆記試験（記述式）	80								
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）									
5 口頭試験									
6 レポート									
7 成果発表	10		a	a		a	a		
8 質問紙法									
9 直接観察法（模型または実際の患者）									
10 OSCE									
11 監査（オーディット）									
12 ポートフォリオ									
13 自己評価									
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10								
合計（100%）	100								

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

人類学	1	カリキュラム・マップ
アセスメント・マップ		
① 評価形式ごとの評価割合 (%)		
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)		
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	80	a
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20 学習態度	a
合計（100%）	100	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重し思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、チューターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

数学	2	カリキュラム・マップ
アセスメント・マップ		
評価形式	① 評価形式ごとの評価割合 (%)	② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
1	定期試験：筆記試験(記述式) 90	a
2	定期試験：筆記試験(多肢選択式)	
3	小テスト：筆記試験(記述式) 10	b
4	小テスト：筆記試験(多肢選択式)	
5	口頭試験	
6	レポート	
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法(模型または実際の患者)	
10	OSCE	
11	監査(オーデジット)	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	
	合計(100%)	100

I. プロフェSSIONALISM		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																									
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	1	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2	医療安全、感染症対策を実践できる。	2	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	2	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	問題解決及び課題探索能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	4	医療及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4	地域医療の実践に配慮できる。	4	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	5	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5	問題を解決し、礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	5	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

応用統計学	2	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）	50	b
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	50	b
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	グローバル・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

基礎医学物理	2	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）
	3	小テスト：筆記試験（記述式）
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）
	5	口頭試験
	6	レポート
	7	成果発表
	8	質問紙法
	9	直接観察法（模型または実際の患者）
	10	OSCE
	11	監査（オーディット）
	12	ポートフォリオ
	13	自己評価
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載
		合計（100%）

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー																																													
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療					VIII. 国際貢献												
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5										
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に活用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	応用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を解決するための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。			
E	E	E	E	E	E	C	C	C	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

放射線物理学	1	カリキュラム・マップ		
		アセスメント・マップ		
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)		
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)		
		評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）	100
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
		3 小テスト：筆記試験（記述式）		
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
		5 口頭試験		
		6 レポート		
		7 成果発表		
		8 質問紙法		
		9 直接観察法（模型または実際の患者）		
		10 OSCE		
11 監査（オーディット）				
12 ポートフォリオ				
13 自己評価				
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載				
合計（100%）	100			

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に活用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	問題を解決するための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を解決し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
生命科学	1	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	50
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	30
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	5
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	15
		5 口頭試験	0
		6 レポート	0
		7 成果発表	0
		8 質問紙法	0
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	0
10 OSCE	0		
11 監査（オーディット）	0		
12 ポートフォリオ	0		
13 自己評価	0		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	0		
合計（100%）	100		

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	問題を解決するための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を解決し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
E	E	E	E	E	E	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	C	D	E	D	D	E	E	E	E	E	D	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

ドイツ語	1	カリキュラム・マップ
アセスメント・マップ		
① 評価形式ごとの評価割合 (%)		
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)		
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）	60	a
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート		
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	40 (宿題、授業態度)	a
合計 (100%)	100	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要なことを説明できる。	問題を解決するための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

ロシア語	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1	定期試験：筆記試験（記述式）	70
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
3	小テスト：筆記試験（記述式）	10
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
5	口頭試験	
6	レポート	
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20 (授業態度、出席)
	合計 (100%)	100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に活用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医学史

0.5

カリキュラム・マップ

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	グローバル・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a: 主な対象項目/b: 副次的な対象項目/c: 対象に含めている項目)

評価形式	割合 (%)	I. プロフェッショナリズム	II. 医学知識	III. 医療の実践	IV. 問題対応能力	V. コミュニケーション	VI. 科学的探求	VII. 地域医療	VIII. 国際貢献
1 定期試験：筆記試験（記述式）									
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）									
3 小テスト：筆記試験（記述式）									
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）									
5 口頭試験									
6 レポート	50	a	a	a	a	a	a		
7 成果発表	40	a	a	a	a	a	a		
8 質問紙法									
9 直接観察法（模型または実際の患者）									
10 OSCE									
11 監査（オーディット）									
12 ポートフォリオ									
13 自己評価									
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10 出席状況					b	b	a	
合計（100%）	100								

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医学入門 セミナー	2	カリキュラム・マップ
--------------	---	------------

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	定期試験：筆記試験（記述式）													
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）													
3	小テスト：筆記試験（記述式）													
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）													
5	口頭試験													
6	レポート	100												
7	成果発表													
8	質問紙法													
9	直接観察法（模型または実際の患者）													
10	OSCE													
11	監査（オーディット）													
12	ポートフォリオ													
13	自己評価													
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載													

合計（100%）	100
----------	-----

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の実践に配慮できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重する。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
E	E	E	E	E	E	E	C	D	D	D	E	E	E	E	E	E	D	E	E	D	E	E	E	E	E	C	C	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科 目 名	単 位 数	学修成果と評価方法	
新入生 チュートリアル	1	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験 (記述式)	
		2 定期試験：筆記試験 (多肢選択式)	
		3 小テスト：筆記試験 (記述式)	
		4 小テスト：筆記試験 (多肢選択式)	
		5 口頭試験	
		6 レポート	50
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法 (模型または実際の患者)	
10 OSCE			
11 監査 (オーディット)			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	50		
合計 (100%)	100		

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー																																										
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献										
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に活用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着ける。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題を解決及び課題探索能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	
D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	E	D	D	D	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	D	C	C	C	C	D	D	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

初年次セミナー	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）
	3	小テスト：筆記試験（記述式）
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）
	5	口頭試験
	6	レポート 40
	7	成果発表 30
	8	質問紙法
	9	直接観察法（模型または実際の患者）
	10	OSCE
	11	監査（オーディット）
	12	ポートフォリオ 20
	13	自己評価 10
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載
		合計（100%） 100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	問題を解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要なことを説明できる。	問題を解決するための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
E	E	E	D	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	D	E	E	C	C	D	D	D	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	E	E	E	E

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
地域医療合同 セミナー1	1	カリキュラム・マップ
アセスメント・マップ		
① 評価形式ごとの評価割合 (%)		
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)		
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）	0	
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	0	
3 小テスト：筆記試験（記述式）	10	b
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	10	b
5 口頭試験	0	
6 レポート	25	a c
7 成果発表	25	a c
8 質問紙法	0	
9 直接観察法（模型または実際の患者）	0	
10 OSCE	0	
11 監査（オーディット）	0	
12 ポートフォリオ	20	a c
13 自己評価	10	a c
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	0	
合計（100%）	100	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要なことを説明できる。	問題を解決するための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	
c	d	d	d	d	c	e	e	e	d	d	d	d	d	e	d	d	d	d	e	d	b	c	b	d	c	d	e	e	e	e	d	d	d	d	d	d	d	d	e	e	d

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医療行動科学1

1

カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験：筆記試験（記述式）														
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）														
3 小テスト：筆記試験（記述式）														
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）														
5 口頭試験														
6 レポート	100					a	b	a	b	a				
7 成果発表														
8 質問紙法														
9 直接観察法（模型または実際の患者）														
10 OSCE														
11 監査（オーディット）														
12 ポートフォリオ														
13 自己評価														
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載														
合計（100%）	100													

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																							
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	1	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2	医療安全、感染症対策を実践できる。	2	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	2	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	3	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	4	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	4	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	4	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	5	疫学・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。

D	E	D	D	E	C	C	C	C	B	D	E	E	E	E	E	E	D	E	D	E	D	D	D	D	E	B	E	D	E	C	B	B	B	B	B	B
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

死生学

1

カリキュラム・マップ

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	がプライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	
C	C	C	C	D	C	E	E	E	E	D	E	E	E	E	E	E	D	D	D	E	E	E	D	D	E	C	D	D	D	D	E	D	E	D	D	D	C	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験：筆記試験（記述式）	100	a	a	b	a									c
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）														
3 小テスト：筆記試験（記述式）														
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）														
5 口頭試験														
6 レポート														
7 成果発表														
8 質問紙法														
9 直接観察法（模型または実際の患者）														
10 OSCE														
11 監査（オーディット）														
12 ポートフォリオ														
13 自己評価														
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載														

合計（100%）

100

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

肉眼解剖学	2.5	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
	① 評価形式ごとの評価割合 (%)		
	② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)		
	評価形式		
	1	定期試験：筆記試験（記述式）	60
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	30
	3	小テスト：筆記試験（記述式）	10
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
	5	口頭試験	
	6	レポート	
	7	成果発表	
	8	質問紙法	
	9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE		
11	監査（オーディット）		
12	ポートフォリオ		
13	自己評価		
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）		100	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5				
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重し思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
E	E	C	C	E	B	C	C	A	B	B	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E				

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

細胞・組織学1	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）
	3	小テスト：筆記試験（記述式）
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）
	5	口頭試験
	6	レポート
	7	成果発表
	8	質問紙法
	9	直接観察法（模型または実際の患者）
	10	OSCE
	11	監査（オーディット）
	12	ポートフォリオ
	13	自己評価
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載
		合計（100%）

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献													
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5										
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に活用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	問題を解決するための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。					
C	E	C	E	E	E	B	B	B	C	B	E	E	E	E	E	B	B	B	B	B	E	E	E	E	E	C	B	B	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

分子生物学1	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式） 50
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 50
	3	小テスト：筆記試験（記述式）
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）
	5	口頭試験
	6	レポート
	7	成果発表
	8	質問紙法
	9	直接観察法（模型または実際の患者）
	10	OSCE
	11	監査（オーディット）
	12	ポートフォリオ
	13	自己評価
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載
		合計（100%） 100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の実践に配慮できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重する。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

免疫学 2単位 カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	内容	割合 (%)
1	定期試験：筆記試験（記述式）	60
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	40
3	小テスト：筆記試験（記述式）	
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
5	口頭試験	
6	レポート	
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	

合計（100%） 100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、ステューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

免疫学実習

OSCE カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a: 主な対象項目/b: 副次的な対象項目/c: 対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	
1 定期試験：筆記試験（記述式）																
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																
3 小テスト：筆記試験（記述式）																
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																
5 口頭試験																
6 レポート	80															
7 成果発表																
8 質問紙法																
9 直接観察法（模型または実際の患者）																
10 OSCE																
11 監査（オーディット）																
12 ポートフォリオ																
13 自己評価																
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20															
合計（100%）	100															

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																													
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	医療安全、感染症対策を実践できる。	2	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	2	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	2	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	3	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	3	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	医学的探求の意欲と基礎的素養を有している。	3	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	3	国際社会における医学的諸問題を説明できる。	4	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	4	医療の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	4	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	4	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	医療・保健に関する国際協力の役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5	問題を解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	5	科学的探求の意欲と基礎的素養を有している。	5	地域医療の実践に配慮できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	5	国際社会における医学的諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医学概論・医療総論2	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）
	3	小テスト：筆記試験（記述式）
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）
	5	口頭試験
	6	レポート 40
	7	成果発表 10
	8	質問紙法
	9	直接観察法（模型または実際の患者）
	10	OSCE
	11	監査（オーディット）
	12	ポートフォリオ
	13	自己評価
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 50
		合計（100%） 100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献										
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5							
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。		
C	C	C	C	C	C	D	D	D	D	D	E	E	E	E	C	E	D	D	D	E	D	B	C	C	D	C	D	E	E	E	E	D	D	E	C	C	E	E	E	E	E	E

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医療行動科学2

1

カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験：筆記試験（記述式）														
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）														
3 小テスト：筆記試験（記述式）														
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）														
5 口頭試験														
6 レポート	100					a	b	a	a	a				
7 成果発表														
8 質問紙法														
9 直接観察法（模型または実際の患者）														
10 OSCE														
11 監査（オーディット）														
12 ポートフォリオ														
13 自己評価														
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載														
合計（100%）	100													

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																							
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	1	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2	医療安全、感染症対策を実践できる。	2	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	2	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3	地域医療の実践に配慮できる。	3	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	4	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	4	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	4	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	4	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	4	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	4	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	4	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	5	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	5	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	5	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	5	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	5	地域医療の実践に配慮できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。

D

E

D

D

E

B

C

C

C

B

C

E

E

E

E

E

E

D

E

D

E

D

E

D

E

D

E

D

E

D

E

B

D

D

D

D

E

B

D

C

E

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医療統計学入門

0.5

カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験：筆記試験（記述式）														
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）														
3 小テスト：筆記試験（記述式）														
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	50					b		b			a	a		
5 口頭試験														
6 レポート	50							a			a			
7 成果発表														
8 質問紙法														
9 直接観察法（模型または実際の患者）														
10 OSCE														
11 監査（オーディット）														
12 ポートフォリオ														
13 自己評価														
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載														

合計 (100%)

100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に活用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	問題を解決するための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	
D	D	D	D	D	D	C	C	D	C	D	E	E	E	D	D	D	D	C	C	D	E	E	E	E	D	D	D	D	C	D	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

肉眼解剖学実習

3

カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	割合 (%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）	
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
3 小テスト：筆記試験（記述式）	
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
5 口頭試験	90
6 レポート	
7 成果発表	
8 質問紙法	
9 直接観察法（模型または実際の患者）	
10 OSCE	
11 監査（オーディット）	
12 ポートフォリオ	
13 自己評価	
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10 実習態度

合計 (100%) 100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
E	E	B	C	E	A	B	C	A	B	A	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	A	A	A	E	B	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

神経解剖学	1	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	80
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	20
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載			
合計（100%）	100		

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	問題を解決するための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を解決し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
組織学・脳実習	2.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）	80	a a a
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	20	a a a
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー																																													
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療					VIII. 国際貢献												
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5										
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に活用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を解決するための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。				
C	E	C	E	E	E	B	B	B	C	B	E	E	E	E	E	E	B	B	B	B	C	E	E	E	E	C	B	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

細胞・器官生理学	4.5	カリキュラム・マップ
----------	-----	------------

① 評価形式ごとの評価割合 (%)		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
評価形式			
1 定期試験：筆記試験（記述式）	50		a a a a c c c c
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	50	a a a	
3 小テスト：筆記試験（記述式）			
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）			
5 口頭試験			
6 レポート			
7 成果発表			
8 質問紙法			
9 直接観察法（模型または実際の患者）			
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載			
合計（100%）	100		

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識				III. 医療の実践					IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																																								
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	1	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	2	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2	学術的探求の意欲と基礎的素養を有している。	2	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	2	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	3	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	3	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	医療安全、感染症対策を実践できる。	4	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	4	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	4	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	5	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	5	地域医療の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	6	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	6	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	6	信賴関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	6	地域医療の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	6	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

分子生物学2	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1	定期試験：筆記試験（記述式）	50
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	50
3	小テスト：筆記試験（記述式）	
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
5	口頭試験	
6	レポート	
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	
	合計（100%）	100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の実践に配慮できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重する。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

薬理学 3.5 カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	内容	割合 (%)
1	定期試験：筆記試験（記述式）	25
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	70
3	小テスト：筆記試験（記述式）	5
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
5	口頭試験	
6	レポート	
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	

合計（100%） 100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
E	E	E	E	E	E	E	A	A	A	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	
<p>1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。</p> <p>2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。</p> <p>3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。</p> <p>4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。</p> <p>5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。</p> <p>6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。</p> <p>1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。</p> <p>2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。</p> <p>3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。</p> <p>4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。</p> <p>5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。</p> <p>1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。</p> <p>2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。</p> <p>3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。</p> <p>4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。</p> <p>5 医療安全、感染症対策を実践できる。</p> <p>6 災害時の医療について説明できる。</p> <p>1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。</p> <p>2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。</p> <p>3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。</p> <p>4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。</p> <p>5 問題解決及び課題探索能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。</p> <p>1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。</p> <p>2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。</p> <p>3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。</p> <p>4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。</p> <p>5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。</p> <p>1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。</p> <p>2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。</p> <p>3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。</p> <p>4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。</p> <p>5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。</p> <p>1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。</p> <p>2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。</p> <p>3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。</p> <p>4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。</p> <p>5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。</p> <p>1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。</p> <p>2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。</p> <p>3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。</p> <p>4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。</p> <p>5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。</p>																																				

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
生理・薬理学実習	0.5	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	90
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 態度、取り組み	10		
合計（100%）	100		

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献													
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5										
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に活用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を解決し、生体学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。				
D	E	D	E	E	E	B	B	D	B	D	E	E	E	E	E	E	B	B	B	E	D	E	D	E	D	E	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

病理学1 4 カリキュラム・マップ

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識				III. 医療の実践				IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献															
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6						
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	がプライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の実践に配慮できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	割合 (%)	I.1	I.2	I.3	I.4	I.5	I.6	II.1	II.2	II.3	II.4	II.5	II.6	III.1	III.2	III.3	III.4	III.5	III.6	IV.1	IV.2	IV.3	IV.4	IV.5	IV.6	V.1	V.2	V.3	V.4	V.5	V.6	VI.1	VI.2	VI.3	VI.4	VI.5	VI.6	VII.1	VII.2	VII.3	VII.4	VII.5	VII.6	VIII.1	VIII.2	VIII.3	VIII.4	VIII.5							
1 定期試験：筆記試験（記述式）	10							b	b	b	b			a						a	a	a	a									b	b	b	b	b																			
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	70							a	a	a	a			a						b	b	b	b																																
3 小テスト：筆記試験（記述式）																																																							
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																							
5 口頭試験																																																							
6 レポート	10							b	b	b	b			a					a	a	a	a									b	b	b	b	b																				
7 成果発表																																																							
8 質問紙法																																																							
9 直接観察法（模型または実際の患者）																																																							
10 OSCE																																																							
11 監査（オーディット）																																																							
12 ポートフォリオ																																																							
13 自己評価																																																							
14 その他 出席回数、授業態度、身なり等を評価	10													a											a	a																													
合計（100%）	100																																																						

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

病理学2	2.5	カリキュラム・マップ
------	-----	------------

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	割合 (%)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験：筆記試験（記述式）	20						a	a	a	a	a				
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	60						a	a	a	a	a				
3 小テスト：筆記試験（記述式）															
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
5 口頭試験															
6 レポート	20						a	a	a	a	a				
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法（模型または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															

合計（100%） 100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																																	
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に活用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	1	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	3	臨床情報整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	3	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	4	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	4	医療安全、感染症対策を実践できる。	4	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	4	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	4	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	4	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	5	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	5	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	5	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	5	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	5	地域医療の実践に配慮できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。

D	D	D	D	D	C	B	B	B	B	B	E	E	D	E	E	E	C	C	B	B	C	E	E	E	E	E	B	B	B	B	C	E	E	E	E	E	E	C	E	D	D
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

微生物学	4	カリキュラム・マップ
------	---	------------

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	内容	割合 (%)
1	定期試験：筆記試験 (記述式)	41
2	定期試験：筆記試験 (多肢選択式)	41
3	小テスト：筆記試験 (記述式)	
4	小テスト：筆記試験 (多肢選択式)	5
5	口頭試験	
6	レポート	8
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法 (模型または実際の患者)	
10	OSCE	
11	監査 (オーディット)	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5
合計 (100%)		100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に活用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を説明できる。	問題を説明し、礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	グローバル・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

E	E	E	E	E	E	C	C	D	D	D	E	D	E	E	E	D	E	E	E	E	E	D	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

感染症学	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	C	C	C	C	D	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E			
		アセスメント・マップ																																					
	① 評価形式ごとの評価割合 (%)		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																				
	評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																				
		2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100						a	a	a	a		a	a	a																						
		3	小テスト：筆記試験（記述式）																																				
		4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																				
		5	口頭試験																																				
		6	レポート																																				
		7	成果発表																																				
		8	質問紙法																																				
		9	直接観察法（模型または実際の患者）																																				
		10	OSCE																																				
		11	監査（オーディット）																																				
	12	ポートフォリオ																																					
	13	自己評価																																					
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																					
		合計（100%）	100																																				

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																									
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医学英語3	0.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1	定期試験：筆記試験（記述式）	
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
3	小テスト：筆記試験（記述式）	
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
5	口頭試験	
6	レポート	40
7	成果発表	40
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20 学習態度
	合計（100%）	100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献	
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。
E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
E															

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医学概論・医療総論3	0.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	30	c c c c c
7 成果発表	20	
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）	50	a
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	
c	c	c	c	c	B	D	D	D	D	C	D	D	E	E	D	E	D	C	C	D	C	B	C	B	C	C	E	E	E	E	E	C	D	D	B	C	E	D	E	D	E

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医療行動科学3

0.5

カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験：筆記試験（記述式）														
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）														
3 小テスト：筆記試験（記述式）														
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）														
5 口頭試験														
6 レポート	100	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a
7 成果発表														
8 質問紙法														
9 直接観察法（模型または実際の患者）														
10 OSCE														
11 監査（オーディット）														
12 ポートフォリオ														
13 自己評価														
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載														

合計（100%）

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																					
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	1	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2	医療安全、感染症対策を実践できる。	2	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	2	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重する。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	臨床情報整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	地域医療における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	4	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	4	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	4	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4	地域医療の実践に配慮できる。	4	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	5	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	5	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	5	地域医療の実践に配慮できる。	5	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

B

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして規範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科 目 名	単 位 数	学修成果と評価方法
-------------	-------------	-----------

病理学実習	2	カリキュラム・マップ
		B
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）	60	a a a a
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	20	b b b b]
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 実習態度、コミュニケーション、身なり等を観察評価	20	a a
合計（100%）	100	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識				III. 医療の実践				IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献															
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	がプライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	
E	E	E	E	E	D	B	B	B	B	B	E	E	E	B	B	B	B	B	E	D	E	E	B	B	B	B	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

研究室(基礎)配属	4.5	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	C	C	B	B	B	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E		
		アセスメント・マップ																																				
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																				
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																				
		1 定期試験：筆記試験(記述式)																																				
		2 定期試験：筆記試験(多肢選択式)																																				
		3 小テスト：筆記試験(記述式)																																				
		4 小テスト：筆記試験(多肢選択式)																																				
		5 口頭試験																																				
		6 レポート	80																																			
		7 成果発表	20																																			
		8 質問紙法																																				
		9 直接観察法(模型または実際の患者)																																				
		10 OSCE																																				
	11 監査(オーディット)																																					
	12 ポートフォリオ																																					
	13 自己評価																																					
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																					
	合計(100%)	100																																				

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献										
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を説明できる。	問題を解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の実践に配慮できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重する。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

血液学	0.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100	a a a
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート		
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献							
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5				
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	問題を解決するための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

呼吸器病学

1.5

カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
1	定期試験：筆記試験（記述式）														
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100													
3	小テスト：筆記試験（記述式）														
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）														
5	口頭試験														
6	レポート														
7	成果発表														
8	質問紙法														
9	直接観察法（模型または実際の患者）														
10	OSCE														
11	監査（オーディット）														
12	ポートフォリオ														
13	自己評価														
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載														
	合計（100%）	100													

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着ける。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	C	C	C	C	D	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

腎臓病学

0.5

カリキュラム・マップ

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																															
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	医療安全、感染症対策を実践できる。	2	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	2	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	3	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	情報関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	3	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	4	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	4	問題を解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	4	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	4	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	4	地域医療の実践に配慮できる。	4	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	5	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	5	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	5	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験：筆記試験（記述式）														
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		100												
3 小テスト：筆記試験（記述式）														
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）														
5 口頭試験														
6 レポート														
7 成果発表														
8 質問紙法														
9 直接観察法（模型または実際の患者）														
10 OSCE														
11 監査（オーディット）														
12 ポートフォリオ														
13 自己評価														
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載														

合計（100%） 100

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5				
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	グローバル・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

循環器内科学	1.5	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	B	B	B	B	B	B	C	C	C	C	C	C	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E
--------	-----	------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

アセスメント・マップ	
① 評価形式ごとの評価割合 (%)	② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)
評価形式	
1 定期試験：筆記試験（記述式）	
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100
3 小テスト：筆記試験（記述式）	
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
5 口頭試験	
6 レポート	
7 成果発表	
8 質問紙法	
9 直接観察法（模型または実際の患者）	
10 OSCE	
11 監査（オーディット）	
12 ポートフォリオ	
13 自己評価	
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	
合計（100%）	100

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして規範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

臨床腫瘍学

0.5

カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	定期試験：筆記試験（記述式）	100	a	a	a	a		a	a	a	a			a
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）													
3	小テスト：筆記試験（記述式）													
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）													
5	口頭試験													
6	レポート													
7	成果発表													
8	質問紙法													
9	直接観察法（模型または実際の患者）													
10	OSCE													
11	監査（オーディット）													
12	ポートフォリオ													
13	自己評価													
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載													
	合計（100%）	100												

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識				III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献											
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	「フライマリ・ケア」を実践するための基礎的知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。		
B	B	B	B	E	B	C	C	C	C	D	E	E	B	C	E	E	D	D	D	D	E	E	D	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

皮膚科学

1

カリキュラム・マップ

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に活用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探索能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	がプライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的諸問題を説明できる。

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a: 主な対象項目/b: 副次的な対象項目/c: 対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験：筆記試験（記述式）														
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90								a:	a:	a:	a:		
3 小テスト：筆記試験（記述式）														
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）														
5 口頭試験														
6 レポート	10								a:	a:	a:	a:		
7 成果発表														
8 質問紙法														
9 直接観察法（模型または実際の患者）														
10 OSCE														
11 監査（オーディット）														
12 ポートフォリオ														
13 自己評価														
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載														

合計（100%）

100

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

小児科学	2	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）
	3	小テスト：筆記試験（記述式）
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）
	5	口頭試験
	6	レポート
	7	成果発表
	8	質問紙法
	9	直接観察法（模型または実際の患者）
	10	OSCE
	11	監査（オーディット）
	12	ポートフォリオ
	13	自己評価
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載
		合計（100%）

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	
E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

外科総論	0.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1	定期試験：筆記試験（記述式）	100
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
3	小テスト：筆記試験（記述式）	
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
5	口頭試験	
6	レポート	
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	
	合計（100%）	100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。					
C	D	C	C	D	C	C	C	C	C	C	D	D	C	C	C	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

外科腫瘍学

0.5

カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	定期試験：筆記試験（記述式）	100												
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）													
3	小テスト：筆記試験（記述式）													
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）													
5	口頭試験													
6	レポート													
7	成果発表													
8	質問紙法													
9	直接観察法（模型または実際の患者）													
10	OSCE													
11	監査（オーディット）													
12	ポートフォリオ													
13	自己評価													
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載													

合計（100%）

100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																															
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	1	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	2	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	3	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3	地域医療の実践に配慮できる。	3	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	4	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	4	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	4	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	4	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	地域医療の実践に配慮できる。	4	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	5	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	5	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	5	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	5	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	5	地域医療の実践に配慮できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

c

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分

高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

消化器外科 1.5 カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a: 主な対象項目 / b: 副次的な対象項目 / c: 対象に含めている項目)

評価形式	① 評価形式ごとの評価割合 (%)		② 評価形式毎の比重 (a: 主な対象項目 / b: 副次的な対象項目 / c: 対象に含めている項目)																																					
	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5									
1 定期試験：筆記試験（記述式）	100		c		c	c		c	a	a	a	a	a	b	b	b	b	b									c	c		c	c									
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																								
3 小テスト：筆記試験（記述式）																																								
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																								
5 口頭試験																																								
6 レポート																																								
7 成果発表																																								
8 質問紙法																																								
9 直接観察法（模型または実際の患者）																																								
10 OSCE																																								
11 監査（オーディット）																																								
12 ポートフォリオ																																								
13 自己評価																																								
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																								
合計（100%）	100																																							

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に活用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題を解決及び課題探索能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立つて実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

脳神経外科学	1	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	C	C	C	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E				
		アセスメント・マップ																																						
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																					
		評価形式																																						
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	2																																					
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	88							a	a	a	a																											
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																						
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																						
		5 口頭試験																																						
		6 レポート																																						
		7 成果発表	5																																					
		8 質問紙法																																						
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																						
		10 OSCE	5																																					
	11 監査（オーディット）																																							
	12 ポートフォリオ																																							
	13 自己評価																																							
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																							
	合計（100%）	100																																						

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																											
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	1	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2	医療安全、感染症対策を実践できる。	2	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	2	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	4	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	5	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	5	地域医療の実践に配慮できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
産科・婦人科学	1.5	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	
		10 OSCE	
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載			
合計（100%）	100		

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を解決するための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

口腔外科学 0.5 カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	評価内容	割合 (%)
1	定期試験：筆記試験（記述式）	90
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
3	小テスト：筆記試験（記述式）	
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
5	口頭試験	
6	レポート	
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載→出席状況、授業態度	10

合計（100%） 100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に活用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	
C	D	D	D	D	C	C	B	B	B	C	B	C	B	C	B	E	D	C	C	C	C	B	B	C	E	B	C	C	C	C	E	C	D	D	D	E	E	E	E	E	E

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、チューターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

衛生学	1	カリキュラム・マップ
-----	---	-------------------

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	割合 (%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）	90
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	0
3 小テスト：筆記試験（記述式）	0
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	0
5 口頭試験	0
6 レポート	0
7 成果発表	0
8 質問紙法	0
9 直接観察法（模型または実際の患者）	0
10 OSCE	0
11 監査（オーディット）	0
12 ポートフォリオ	0
13 自己評価	0
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10

合計（100%）	100
----------	-----

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出でき、	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立つて実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
C	B	C	B	A	E	B	B	D	C	B	E	D	D	C	B	E	C	B	B	C	E	E	E	D	E	B	B	B	B	B	D	B	C	E	E	C	B	A	B	A	B

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
医療統計学3	0.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	50	a
7 成果発表	50	b
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献	
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	科学的探求を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	1	地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
2	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。
3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	3	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	3	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	3	国際交流に積極的に参加し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	4	問題を解決するための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	4	国際交流に積極的に参加し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	5	問題を解決するための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	5	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5	国際交流に積極的に参加し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
6	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	6	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	6	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	6	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	6	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	6	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	6	地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	6	国際交流に積極的に参加し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医学英語4	0.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1	定期試験：筆記試験（記述式）	
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
3	小テスト：筆記試験（記述式）	
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
5	口頭試験	
6	レポート	
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	ル・ブレイク)
合計 (100%)	100	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に活用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題を解決するための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を解決し、生体学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	
E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	B	B	B	B	E	E	E	E	E	E	A	A	B	B	A	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	A	E	E	E	E

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医学概論・医療総論4	0.5	カリキュラム・マップ
------------	-----	------------

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

評価形式	割合 (%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）	70
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
3 小テスト：筆記試験（記述式）	30
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
5 口頭試験	
6 レポート	
7 成果発表	
8 質問紙法	
9 直接観察法（模型または実際の患者）	
10 OSCE	
11 監査（オーディット）	
12 ポートフォリオ	
13 自己評価	
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	

合計（100%）	100
----------	-----

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー																																									
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に活用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の実践に配慮できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重する。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1 定期試験：筆記試験（記述式）	70	a	a	a	a	a						a	a	a	a	a	a																				
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																					
3 小テスト：筆記試験（記述式）	30	a	a	a	a	a						a	a	a	a	a	a																				
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																					
5 口頭試験																																					
6 レポート																																					
7 成果発表																																					
8 質問紙法																																					
9 直接観察法（模型または実際の患者）																																					
10 OSCE																																					
11 監査（オーディット）																																					
12 ポートフォリオ																																					
13 自己評価																																					
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																					

合計（100%）	100
----------	-----

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
医療統計学2	0.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	20	a
5 口頭試験		
6 レポート	80	a
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																												
I. プロフェSSIONナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5				
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題を解決するための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を解決するための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。		
D	D	D	D	B	D	C	C	D	C	C	E	E	E	D	D	D	D	B	B	D	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	D	E	E	E	D	D	D	D	D	C	D			

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
精神医学	2	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
	① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
	② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
	評価形式	
	1 定期試験：筆記試験（記述式）	
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100
	3 小テスト：筆記試験（記述式）	
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
	5 口頭試験	
	6 レポート	
	7 成果発表	
	8 質問紙法	
	9 直接観察法（模型または実際の患者）	
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に活用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
C	B	C	C	B	C	B	B	B	B	B	C	B	B	C	C	C	C	C	C	B	B	B	B	B	C	B	B	C	C	C	B	C	B	C	B	C	B	C	B	C	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

IYR・放射線治療	0.5	カリキュラム・マップ
-----------	-----	------------

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

評価形式	割合 (%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）	10
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90
3 小テスト：筆記試験（記述式）	
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
5 口頭試験	
6 レポート	
7 成果発表	
8 質問紙法	
9 直接観察法（模型または実際の患者）	
10 OSCE	
11 監査（オーディット）	
12 ポートフォリオ	
13 自己評価	
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	

合計（100%） 100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																																													
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	1	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	2	地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	4	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	4	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	地域医療の実践に配慮できる。	4	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	5	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	5	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	5	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	5	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	5	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	5	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	5	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	5	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	5	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	5	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	5	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	5	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	
1 定期試験：筆記試験（記述式）																																				
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																				
3 小テスト：筆記試験（記述式）																																				
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																				
5 口頭試験																																				
6 レポート																																				
7 成果発表																																				
8 質問紙法																																				
9 直接観察法（模型または実際の患者）																																				
10 OSCE																																				
11 監査（オーディット）																																				
12 ポートフォリオ																																				
13 自己評価																																				
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																				

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
医療薬学	0.5	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式） 20
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 80	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	
		10 OSCE	
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載			
合計（100%）	100		

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に活用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

統合医療学	0.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1	定期試験：筆記試験（記述式）	20
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	80
3	小テスト：筆記試験（記述式）	
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
5	口頭試験	
6	レポート	
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	
合計（100%）	100	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
c	d	c	c	d	d	c	c	c	c	d	c	c	c	c	d	d	d	d	d	d	c	c	d	d	c	d	d	d	c	d	e	c	d	e	d					

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

総合診療入門	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式） 100
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）
	3	小テスト：筆記試験（記述式）
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）
	5	口頭試験
	6	レポート
	7	成果発表
	8	質問紙法
	9	直接観察法（模型または実際の患者）
	10	OSCE
	11	監査（オーディット）
	12	ポートフォリオ
	13	自己評価
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載
		合計（100%） 100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に活用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の実践に配慮できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重する。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
B	B	B	B	B	B	B	B	E	E	B	B	B	B	B	E	E	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B					

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
症候診断学	1.5	カリキュラム・マップ

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	がプライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の実践に配慮できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
評価形式			
1 定期試験：筆記試験（記述式）			
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	95	a	a a a a a
3 小テスト：筆記試験（記述式）			
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）			
5 口頭試験			
6 レポート			
7 成果発表			
8 質問紙法			
9 直接観察法（模型または実際の患者）			
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5		a
合計（100%）	100		

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
麻酔科学	0.5	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 出席状況	10		
合計（100%）	100		

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー																																											
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に活用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	問題を解決するための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。				

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

救急災害医学	1	カリキュラム・マップ
--------	---	------------

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験：筆記試験（記述式）														
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100	a	b	b	b		a	a	b	b		a		a
3 小テスト：筆記試験（記述式）														
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）														
5 口頭試験														
6 レポート														
7 成果発表														
8 質問紙法														
9 直接観察法（模型または実際の患者）														
10 OSCE														
11 監査（オーディット）														
12 ポートフォリオ														
13 自己評価														
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載														

合計（100%）	100
----------	-----

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	C	C	C	C	C	B	D	D	D	D	E	E	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	E	E	E	D	E	E	E	E
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医療安全管理学

0.5

カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験：筆記試験（記述式）														
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90	a			b						b	a		
3 小テスト：筆記試験（記述式）	10				b									
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）														
5 口頭試験														
6 レポート														
7 成果発表														
8 質問紙法														
9 直接観察法（模型または実際の患者）														
10 OSCE														
11 監査（オーディット）														
12 ポートフォリオ														
13 自己評価														
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載														

合計（100%） 100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																															
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	1	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	2	地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	3	地域医療における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	3	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	4	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	4	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	4	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	5	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	5	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	5	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	5	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

法医学・医事法 2.5 カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a: 主な対象項目 / b: 副次的な対象項目 / c: 対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験：筆記試験（記述式）	35													
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	35													
3 小テスト：筆記試験（記述式）														
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）														
5 口頭試験														
6 レポート	20													
7 成果発表														
8 質問紙法														
9 直接観察法（模型または実際の患者）														
10 OSCE														
11 監査（オーディット）														
12 ポートフォリオ														
13 自己評価														
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10 出席状況													

合計（100%）

I. プロフェッショナリズム			II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5							
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。	問題を説明できる。						
C	A	A	D	S	C	D	D	D	D	D	E	E	E	E	D	C	D	D	D	D	D	E	E	E	D	C	C	C	C	C	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	D	D

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
総合講義2	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1	定期試験：筆記試験（記述式）	
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
3	小テスト：筆記試験（記述式）	
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
5	口頭試験	
6	レポート	
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	100
	合計（100%）	100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																																									
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	医療安全、感染症対策を実践できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	3	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	4	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	4	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	4	問題を解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	4	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	4	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	5	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	5	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	5	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	6	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	6	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	6	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	6	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	6	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	6	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	6	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。